

精密減速機事業の生産能力増強について ～2020年度：年産120万台体制の構築～

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本 克弘）は、2018年度から2020年度に向け、精密減速機事業における生産能力を積極的に増強していきます。

当社は、産業用ロボット向けの精密減速機において世界で約60%の市場シェアを有していますが、中国を中心とした自動化ニーズの高まりや自動車業界における産業用ロボット導入の増加等に伴い、精密減速機の需要拡大は今後も持続することが見込まれます。

精密減速機事業における生産は、津工場（三重県津市）と中国常州市の納博特斯克（中国）精密机器有限公司が担っていますが、現在、当社は2017年度期初時点の定時生産能力：年産64万台を、2018年度下期時点で年産84万台に増強する投資（投資額約70億円）を進めております。上記に加え、今後、津工場を対象にさらなる投資を行い、グローバルでの定時生産能力を2019年に106万台、2020年には120万台とする設備増強（投資額約190億円）を実行してまいります。

今後の津工場における設備増強では、最先端設備の導入により、自動化・少人化、フレキシブルライン化、設備の高密度化をコンセプトとした高生産性、高環境性（電力消費量を従来比50%削減）を実現し、お客さまからの生産数量増加の要望に十分対応できる体制を整えてまいります。

なお、一連の生産能力増強に関する設備投資額については、合計約260億円を予定していますが、2017年12月期業績への影響は軽微です。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせします。